

世界とつながる岐阜大学

国際性を身に付けよう！

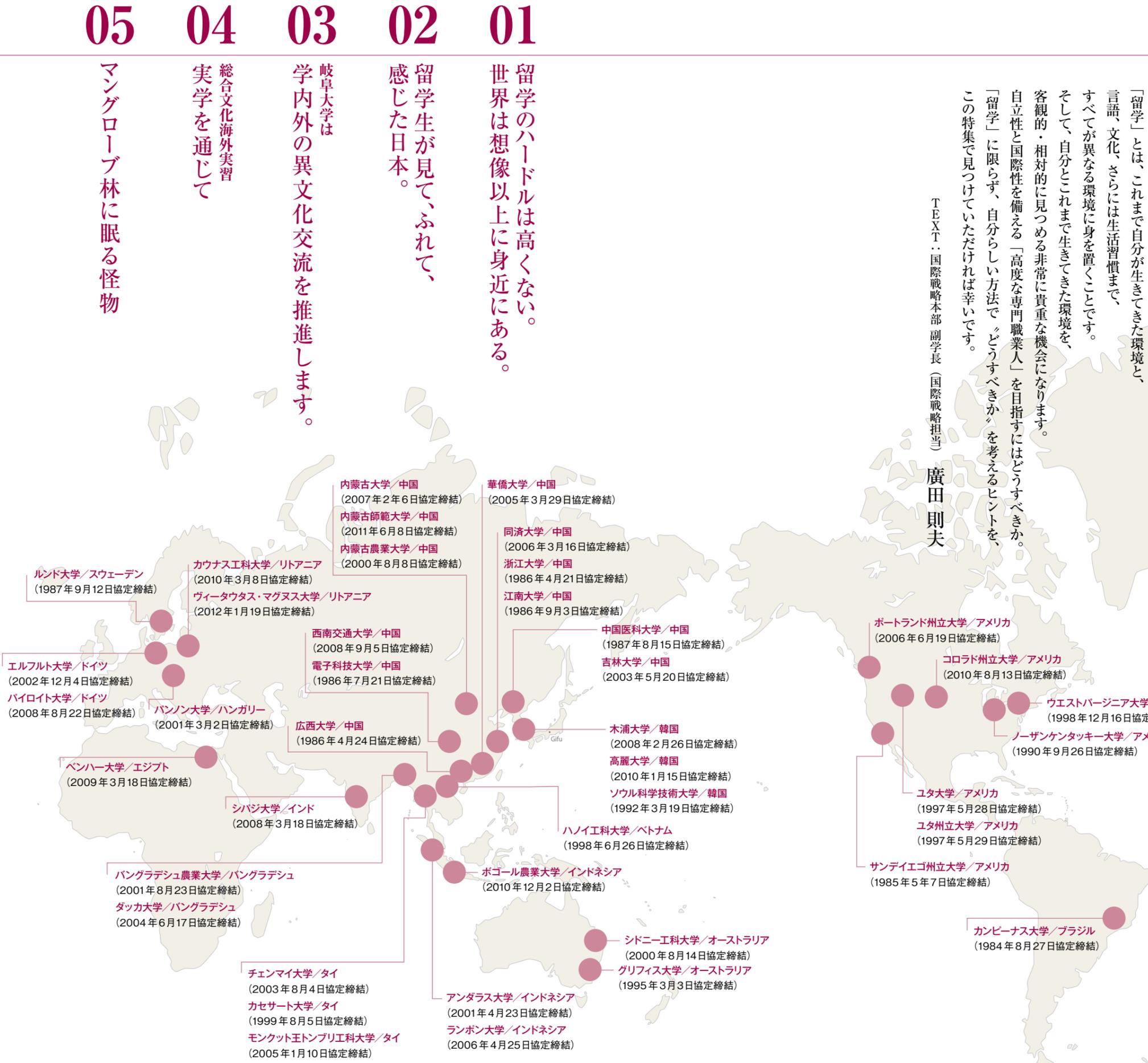
——15年前、
岐阜大学に留学生センターが設置される以前のこと
本学で学ぶ留学生は100に満たない人数でした。

現在では、400名近くの海外からの留学生が
日本人学生と一緒に勉学・研究を続けています。
また、大学間の学術交流協定も海外15か国42大学との間で締結し、
研究交流だけでなく、本学学生の「留学」を促進しています。

「留学」とは、これまで自分が生きてきた環境と、
言語、文化、さらには生活習慣まで、
すべてが異なる環境に身を置くことです。
そして、自分とこれまで生きてきた環境を、
客観的・相対的に見つめる非常に貴重な機会になります。
自立性と国際性を備える「高度な専門職業人」を目指すにはどうすべきか。
「留学」に限らず、自分らしい方法で、どうすべきかを考えるヒントを、
この特集で見つけていただければ幸いです。

TEXT: 国際戦略本部 副学長 (国際戦略担当) 廣田 則夫

学術交流協定
15か国
42大学



01 留学のハードルは高くない。
世界は想像以上に身近にある。
留学生が見て、ふれて、
感じた日本。

02 岐阜大学は
学内外の異文化交流を推進します。
総合文化海外実習
実学を通じて

03 マングローブ林に眠る怪物

04

05